

本時のねらい

プレゼンテーションを聞いて、自分にとって必要な情報をまとめるためのメモの取り方を学ぼう。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

本単元では、他の生徒の発表を聞く際に、その発表を別の人に伝えられるように必要な情報を収集できることをめあてとする。本時はその練習の基礎として、発表を聞きながら、内容に関するメモをどのように取るかを学ばせたい。そこで、ロイロノート上に what, who, where, when, why, how のカードを配付し、発表を聞きながらメモを取り、他の生徒が書いたメモと比較することで、どのようなメモが効果的かを考えさせる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC ・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ペアの1人が、前のスクリーンに表示された絵（人物が何人か描かれている様子）を見て、ペアに伝えるために必要な情報をまとめ、メモを作成する。 メモをもとに、ペアに絵の内容を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアの一人には画像を見せないため、生徒用タブレット PC にはあえて送信せずに、前のスクリーンに提示させる。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に掲載されている人物になりきったスピーチを聞きながら、その人物について、別の人に伝えるために必要な情報に絞って、メモをとる。 ロイロノートを使い、どんなメモをとったのか比較する。 メモをもとに、スピーチの内容の Retelling（再話）をペアで行う。相手の Retelling を聞いて、必要な情報があればメモに書き加える。 スピーチの内容の中で、さらに知りたい部分を相手にたずねる質問を考える。 質問をロイロノートで提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノートで事前に疑問詞を記入した色違いのカードを用意しておき、配付する。 回答を共有することにより、比較しやすくする。 生徒から送られてきたメモを共有し、全体で共有する。
まとめ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> 質問の答えを、検索サイトなどを活用して調べる。 次回以降、それぞれ歴史上の人物について発表活動をすることを連絡する。 	<ul style="list-style-type: none"> 検索サイトで自由に検索させるときには、予め目的をはっきりとさせておくようにする。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1：人物になりきったスピーチで聞いた内容をロイロノート上でメモをとる様子



写真 2：教員から送られてきた 5W1H のカードで色分けされたシートに、必要な情報を書き込んでいる様子



写真 3：生徒から送られてきたメモを全体で共有している様子

児童生徒の反応や変容

他の人のメモを即座にシェアできるので、それを参考にメモを取るポイントをつかむことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・今回、ロイロノート上で、5W1H のカードを色分けして、そこにメモを記入し、項目ごとに提出させた。画面上で一斉に共有した際に、同一項目ごとに比較検討ができて、次にメモをとる活動をする際に気をつけるポイントについて考えることができ、それを活かしていこうとする生徒の様子が見られた。

・手書きでタブレット PC の画面にメモを取る際、思うように入力ができなかったため、タイピングした方がよかった。場合によっては、プリントに手書きで書かせた物を画像として取り込んだ方が、視覚的な共有効果が高いのでは感じられる場面もあったので、紙とデジタルを効果的に併用していきたい。